

# 毘沙門山古墳(羽生市)

線路の向こうが毘沙門山古墳/前方後円墳/左手が前方部、右手が後円部





前方部の墳頂に建つ古江神社宮田神社合殿が見える





別な角度から前方部を見る





正面中央に見える建物は毘沙門堂



南側から境内を見る







正面が毘沙門堂/この背後が後円部になる





## 毘沙門堂由緒縁起の略記

### 一 毘沙門堂（ひしゃもんどう）

前方後四の古墳でその一部は開闢の用地として切り崩され、また後方の一部には古墳特有の周溝が新築を護っていたが、近年埋没してしまつた。

この古墳は定説によると一千年以上の歳月を経ているといわれている。

### 一 毘沙門堂

慶長八年（一五六）北條時頼の創建によるが、天文、永禄年間豊原の兵災で焼失し、元龜二年（一五七）羽生城主木戸伊豆守玄朝により再建され、天正十八年（一五九〇）再び兵燹に罹り焼失。その後文禄三年（一五九四）羽生城主大久保州将守康により建立され、羽生、上羽生両村の鎮守として崇敬されてきた。

その後豊原を経て移築したため宝永三年（一七〇六）両村の有志により新築された。

この毘沙門堂は孝義敏達公の御代、大正七年（一九一八）瓦葺入母屋造りに改造修復を施したものである。その後昭和三十年（一九五五）に境内の整備を行ない、昭和五十一年三月（一九七六）には羽生市若草市民会館于一氏ならびにその長男守孝次郎氏の香壇により社務所の建設がなされ、それに併せて境内の整備が行なわれた。

例祭 九月三日

### 一 古江神社

合殿

上羽生地区の姫籠守で祭神は狭依鹿野命（古江神社）と遊具土命（堂田神社）

例祭 九月三日

### 一 浅間神社

萬川の霊山、富士山を主尊と崇める浅間大神の分体で祭神は木花咲智媛命、安産子高輪物産尊の守護神とされている。

例祭 六月三十日、七月一日、初山祭

### 一 秋草神社

火伏（防火）の神として広く崇敬されている。

例祭 十一月十八日

### 一 神明鎮田山

祭神は天御中主命、神皇產靈命、高皇產靈命の三柱で元の父母として大鏡即ち宇宙の本源神天地創元の神といわれる。

### 一 高心塚

慶長八年二月二十七日（一五六）に建立された板碑で日本最大のものといわれ、昭和三十九年九月九日（一九六四）羽生市考古資料として指定されている。

高さ三三メートル、巾一八メートル、厚さ〇・五メートルで一基に二佛（右釈迦、左阿彌陀）を横に配したものである。

### 一 森五郎五郎塚

早稲の清守堂で熊山者候（栃木県那須郡馬山町）に愛されていた儒者であり商家でもあった。堂を評してから当麻沙門堂を基に庶民の教育に専心し門下から多くの人材を輩出している。

毘沙門堂は教育の殿堂でもあり市の歴史でもあった。碑は当の模倣、関係者がその礎を捧和すべく建立した忠孝堂であり、

昭和三十九年九月九日（一九六四）に羽生市史跡として指定されている。

### 一 境内地と本堂

境内地延面積 七六二五坪（二二三・〇平方メートル）

本堂 一八五坪（五〇平方メートル）

社務所 二二五坪（六八平方メートル）

昭和五十一年三月廿日 建之



こちらの鳥居から前方部へ登ってみよう









標柱に奉納庚申堂とある





これはその庚申塔



毘沙門天社寺委員会とある





前方部墳頂にある古江宮田神社社殿





右手方向は後円部方向





社殿左手から線路側を見下ろす





線路側から社殿背後を見上げる





前方部墳丘法面の状態





社殿背後の前方部墳丘法面から後円部方向を見る





境頂に上がって見る





前方が後円部/手前の石垣の辺りがくびれ部か





この辺りがくびれ部





くびれ部辺りから後円部を見る





石垣の中に立つ剣豪小澤愛次郎翁像





ここが後円部





後円部に立つ石碑/参明藤開山と記されている





後円部は子供の遊び場にもなっているようだ









後円部から前方部を見る





後円部から前方部方向の法面を見る





銅像の建っている石垣の辺りがくびれ部





前方部に建つ古江宮田神社社殿









後円部の墳丘下に毘沙門堂が見える

























内部













中央前方に大きな板碑がある









緑泥片岩の日本最大の板碑(板石塔婆)/鎌倉時代中期/羽生市指定文化財





古墳の石室材を利用したものらしい



し か あ む た し ゃ し いた い し とう ば  
**釈迦阿弥陀種子板石塔婆** (羽生市指定第11号 昭和39年9月9日)

板石塔婆は板碑とも呼ばれ、逆修（生きているときに死後の安定を願い仏事を行う）や追善供養（死者の冥福を祈る）のためにたてられました。この地方の板石塔婆は武蔵型板碑という緑泥片岩を用いたものです。梵字（この板碑では右上は釈迦を、左上は阿弥陀を表わしています）が刻まれています。横広の珍しい形をしており、古墳の石室の石の転用とも言われています。

もり たまき さん おう ぼ けつ めい の  
**森玉岡翁墓碣銘の碑** (羽生市指定第13号 昭和39年9月9日)

この石碑は彼の業績をたたえるために、近在の人々によって建てられました。大沼枕山が文章を作り、中沢雪城が書きました。

森玉岡は若い頃から詩や書画にすぐれた才能を発揮し、江戸をでてから上総、川俣を訪れ、羽生にきました。この碑文によると、酒や旅行が好きな粹人であったことがうかがわれます。また、彼によってこの地に学術が芽生えたことが知られ、大きな功績を残した人物です。

文化財を大切に

羽生市教育委員会



梵字が刻まれている



斜め後方から見る





羽生市名誉市民の金子専一翁之像





毘沙門堂背後の後円部に登る階段





幕末の漢学者、森玉岡翁墓碣銘の碑





後円部の法面を見る





反対側から後円部の法面を見る





さまざまな石造物がある





後円部を東側道路から見る













後田部の背後を東側から西方向に見る









これは前方部を背後(北側)から見る/こちらの方に周濠跡が残っていたのであろうか





さて、これは出世地蔵尊だそうだ





## 出せ地蔵尊の由来

首無し地蔵として地中に埋没されていたものを昭和七年(一九三二)に掘り出して建立したもので世に出た地蔵尊といふことで出せ地蔵といふ崇敬されている。

このお堂は、昭和五十年三月(一九七六)氏子有志の寄進により改築されたものである。

例祭 四月二十三日・八月二十三日

平成十二年七月吉日 建之

羽生毘沙門天社寺委員会



境内の南側の敷地に芭蕉の句碑が立っていた





参考ホームページ

[http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/hanyu\\_bisyamon/](http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/hanyu_bisyamon/)

[http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/70\\_hnyu/hanyu.html](http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/70_hnyu/hanyu.html)

<http://saitamano.blogspot.jp/2011/01/blog-post.html>

<http://www.geocities.jp/kawai24jp/saitama-hanyu-bisyamondou.html>





航空写真

交通状況

2000 フィート  
500 m

地図データ ©2013 Google, ZENRIN - 問題の報告